

# まちづくりの施策 「6つの柱」と 「3つの重点プロジェクト」

市がめざす将来像を実現するため、行政全般にわたる施策を6分野に分けて取り組みます。このほか、3つの主要課題については、重点プロジェクトとして位置付け、強力に施策を展開します。

## 施策の基本となる6つの柱

### 1 [歴史と自然が織り成す交流拠点のまち]

をめざします

仙北市は、武家屋敷に代表される歴史と文化の薫り高い角館地区、水深日本一の田沢湖や秋田駒ヶ岳に代表される自然景観に恵まれた田沢湖地区、そして、田園風景や森林を活用した都市と農村の交流が盛んな西木地区など、内外に誇れる豊富な資源にあふれています。

こうしたあらゆる資源を見つめなおし、さらに貴重な財産として活かしていくために、グリーンツーリズム<sup>(1)</sup>やエコツーリズム<sup>(2)</sup>の推進を大きな柱として、この土地で出会う人々が、



自然環境や歴史文化を通じてゆっくりと過ごすことができる交流拠点のまちをめざします。

- ・観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし
- ・国道や県道、生活道路の整備
- ・公共交通の利便性の充実
- ・環境保護の推進
- ・景観の整備と保全の推進
- ・グリーンツーリズムやエコツーリズムの推進
- ・定住対策の推進
- ・国際交流、国内交流の推進

(1)グリーンツーリズム

都市住民が農家などホームステイをして農作業を体験する等、その地域の歴史や自然に親しむ余暇活動

(2)エコツーリズム

自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化に責任を持つ観光の一形態

### 2 [すべての生命を慈しむ健康福祉のまち]

をめざします

市民すべてが健康で生きがいを持って暮らせるために、保健・医療や福祉の充実を進めると同時に、市民一人ひとりが健康づくりや地域の福祉活動、子育て環境づくりなどに主体的に取り組む体制づくりを進めます。

また、市民と地域、そして行政が一体となって、障害のある人もそうでない人も、そして、お年寄りや社会的にハンディのある人も、共に生き生きと暮らせる環境づくりに努め、地域の力で困っている人に手を差し伸べることができる健康福祉のまちをめざします。

- ・健康づくりの推進と病气予防体制の充実
- ・母子保健の充実
- ・地域医療、救急医療体制の整備
- ・子育て支援と保育体制の充実
- ・高齢者福祉と介護保険事業の充実
- ・障害者福祉の充実と社会参加の促進
- ・社会保障(国民健康保険、国民年金、公的扶助)の充実



### 3 [特色ある資源を活かした産業創造のまち]

をめざします

それぞれの地域の持つ固有の資源に着目し、観光産業と農林業、そして商工業の有機的な連携の中で、産業振興に努め地域の活性化を図っていきます。

農林業においては、生産基盤の整備と担い手の育成に努めつつ、付加価値の高い農林産物の生産や地産地消の推進に取り組みます。商工業においては、魅力ある商店街の形成や企業誘致による雇用の創出に取り組むほか、伝統的工芸品の振興や特産品の開発等を進め、本市の特色を最大限に活かした産業創造のまちをめざします。

- ・観光産業と他産業の連携強化
- ・特色ある農業の振興
- ・森林の整備と林業の振興
- ・活力ある商業の振興
- ・物産の開発と販売の促進
- ・企業の育成と企業誘致の促進
- ・雇用環境の整備



### 4 [安心・安全で潤いのある生活環境のまち]

をめざします

市民が安心して快適に暮らせるまちづくりは、市民生活の基本的な条件です。このため、道路網や上下水道の整備、あるいは公園や住環境の整備を計画的に推進します。

また、リサイクルや省資源対策等、地球環境にやさしい社会づくりを進めるとともに、安全な市民生活を確保するために、消防・防災体制の充実に努め、災害への備えが万全なまちづくりを進めるなど、潤いのある生活環境のまちをめざします。

- ・水道の安定供給と施設の整備
- ・下水道の整備と水洗化の普及
- ・住宅団地、市営住宅の整備
- ・公園や緑地の整備
- ・廃棄物の適正処理とリサイクル活動の推進
- ・都市計画や適正な土地利用の推進
- ・消防体制の充実と消防団の育成強化
- ・自然災害等への防災体制の整備
- ・交通安全の推進と交通環境の整備
- ・防犯体制の強化と啓発活動の推進

## 5 [明日を担う人材を育む教育文化のまち]

をめざします

すべての市民が豊かな歴史的遺産や貴重な文化財、あるいは恵まれた教育環境の中で生き生きと学びあい心豊かな人間を育むまちづくりを進めます。

また、国際交流や地域間交流を積極的に進めるとともに、合わせて伝統文化の保存継承に努め、市民自らが文化を創り育てていくという市民意識の醸成と仙北市の未来を担う子供たちがふるさとに誇りを持つことができる教育文化のまちをめざします。

- ・幼児教育の充実と教育環境の整備
- ・学校教育の充実と教育環境の整備
- ・生涯学習の推進と社会教育施設の整備
- ・スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備
- ・芸術文化活動の振興と文化財の保護

## 6 [共に参加し行動する市民協働のまち]

をめざします

地方分権が進む中で、多様化する行政需要に対応するには、これまでの行政主導型の市政運営では限界があり、これからは市民主導のまちづくりが求められています。

このため、それぞれの地域で活動する団体やNPO法人が活発な活動を展開できるように環境整備を進める一方、電子媒体を活用した情報公開の推進、パブリックコメント制度<sup>(3)</sup>の導入や各種委員会の公募委員枠の拡充等により、市民の声を施策に活かすとともに、併せて男女共同参画の推進や地域間交流の促進等により、多くの市民がまちづくりに参画できるシステムを構築し、市民協働のまちをめざします。

- ・市民参画と協働のまちづくり
- ・インターネット等の情報通信基盤の整備
- ・地域づくり活動の推進
- ・男女共同参画型社会の実現

(3)パブリックコメント

条例や計画などの策定に際して、政策の案と資料を公表し、それに対する意見や情報を広く募集し、寄せられた意見等を考慮して政策を決定するとともに、その意見等に対する考え方を公表すること



計画達成のために

### 『行財政改革の推進と開かれた行政運営』

簡素で効率的な行政組織の確立を目指し、地域経営の概念を積極的に取り入れ、新たな行政手法の導入や徹底した行政のスリム化を進めます。

#### ○行財政改革の推進

- ・職員定数の削減や事務事業の見直しによる経費の削減に努めます。
- ・市税の的確な収納による歳入の確保に努めます。
- ・指定管理者制度による公の施設の管理運営など、事務事業のアウトソーシング<sup>(4)</sup>を推進します。

#### ○開かれた行政運営

- ・市のホームページにより的確な情報公開に努めます。
- ・行政手続のオンライン化を進め、市民の利便性の向上に努めます。
- ・行政評価システム<sup>(5)</sup>を導入します。
- ・市民の声を反映させるため、パブリックコメント制度を導入します。

(4)アウトソーシング

業務の全部または一部を外部の業者等に委託すること

(5)行政評価システム

行政活動の成果などを評価し、その結果を行政運営に反映させるしくみ

### 将来人口の予測

現在3万人余りの仙北市の人口は年々減少し、2035年には2万人を割り込み、現在の減少ペースが続くとすれば、2050年には1万2千人台にまで落ち込む推計結果が出ています。

年齢別に見ると、年少人口(0～14歳)と生産年齢人口(15～64歳)の減少が、老年人口(65歳以上)の減少を上回る結果、現在30%の高齢化率は上昇し、将来的には40%に達すると予測されています。

このため、人口減少に歯止めをかけ、定住人口の増加を図るため、本計画において、各種の施策を展開することとし、定住人口3万人の維持と交流人口1千万人を目標にまちづくりを進めます。

### まちづくりアンケート調査の結果から

調査結果を分析したところ、次のようなまちづくりの3つのポイントが浮かびます。

- 「自然環境・美しさ」の保全と継承  
市が有する最大の資源は、恵まれた自然環境であることが共通の認識となっています。
- 「住む人」の安心さ  
「医療」「福祉」の充実が求められています。
- 「交流人口の拡大」による観光産業の育成  
単なる観光資源の充実のみならず、観光産業の拡大、他産業との連携を図っていくことが期待されています。